

# トムトム通信



## キャロット工房就労移行支援



### 本号の内容

キャロット工房特集	1
えぼっくハウス特集	2,3
ゆうゆうクラブ特集	4
からんころん特集	5
あいあいクラブ・ゴロゴロクラブ特集	6
ハロウィン特集	7
トムトムギャラリー	8
職員リレートーク	9
トムトム相談室から	10
対人援助職のためのメンタルヘルス	11
請求担当者会議	12
情報共有の取り組み	13
研修報告	14
研修報告	15
賛助会員/冬期休業案内	16

## ケーブルカーに乗ったよ！



キャロット工房のみんなで外出訓練を兼ね、バスを使って慰安旅行に行ってきました。

昼食は、駅前のレストランでみんなの好きな物を食べました。いつもと違う雰囲気笑顔で大満足！！後に控える山登りへのパワーをチャージしました。大山に到着するとケーブルカーまで300段以上ある階段が！各々のペースで頑張って登り無事到着。上から見える景色は格別でした。最後に大山阿夫利神社近くで集合写真を撮りました。



# えぼっくハウス生活介護

## 外食に行ったよ!



えぼっくハウスの近くにあるレストランへ外食にいきました!初めての取り組みで緊張もありましたが、皆さん落ち着いて料理を召し上がっていました。参加されている利用者の表情をみるとすごく楽しそうにご飯を食べている方ばかりで、大成功でした!



たくさん頼んじゃった♪♪



## BBQ!



今年のバーベキュー。雨天のため里山公園へ行けずに残念でしたが、南原ではホットプレートでみんなでお肉やマッシュマロを焼いて食べました。中原ではテントを張って本格的にBBQ!外で雰囲気味わえ、みんな楽しむことができました!

たのし〜♪♪おいし〜♪♪



## おやつ外出!

おやつ外出でハンバーガーショップへ!ソフトクリームやハンバーガーを注文し、いつもとはちょっと違うおやつにみんな大満足でした!



# お楽しみ外出！ 宮ヶ瀬ダム見学

宮ヶ瀬ダムを見学してきました！緑に囲まれた湖とコンクリートの壁からの落差のある観光放流が豪快でした！湖と深い緑のコントラストの景色を楽しみながらみんなでお弁当を食べました。



七夕祭りに参加しました！七夕の飾り物や催し物を見たり、屋台で自分の好きな食べ物を買って、会場や室内で食べたりと、一人ひとりがとても楽しそうに七夕祭りを満喫されていました。

# 七夕祭り☆



# ひまわり畑

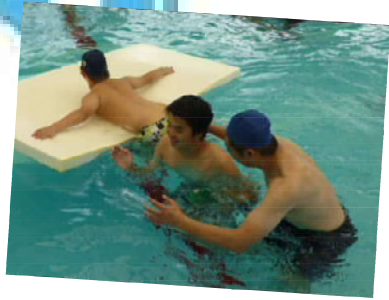
毎年恒例のひまわり見学に行ってきました！普段あまり見られない一面のひまわりという光景を見渡し、皆さん普段と違った表情を見せてくれました！





# ゆうゆうクラブ

## プール遊び!



みんなでパチリ☆



スカスカ〜



いくよー!!

## 誕生日会

お手紙のプレゼント



年に一度の大切な日!お誕生日会!親御さんとスタッフからのお祝いの手紙を担当スタッフが読んでくれました。そのあと、ケーキを食べ、音楽活動をしてみんなからのお手紙もプレゼントしてもらいました!

ロウソクに火をつけて  
ぷわっ!

お誕生日  
おめでとう



# 茅ヶ崎養護学校夏祭り

# からんころん



今年の夏、からんころんでは、茅ヶ崎養護学校の夏祭りに自主製品を持って初めての出店！みんな、久しぶりに会う先生方に「いらっしやいませ〜！」と接客をしたり、交代でお店を回ってカキ氷を食べたり、ゲームをやったり夏祭りに参加しました。おかげさまでからんころんの商品は完売！！また次の出店までお仕事をがんばっています。



## オクラをみんなで作ったよ！

種を蒔いて〜！

芽が出たよ！



成長してきたね



お水を上げて〜♪

利用者さんと一緒に、オクラを育てました。美味しそうに成長したオクラ！自分たちで作った旬の野菜、いつものオクラより美味しかったことでしょう！



立派なオクラができました〜☆



## 浜降祭



おみこしと記念写真☆



# あいあいクラブ



今年も暑〜い夏がやってきました。  
 あいあいクラブのみんなは、外へ行きたくてソワソワしています。  
 養護学校のプールがある日は早めにお昼を食べて、早々に水着に着替えています。  
 柳島しおさい広場では洋服のままダイブして、びしょ濡れで遊びました。  
 湘南夢わくわく公園では全身砂まみれになって、ポケットに沢山の砂をお土産に帰ってきました。  
 みんなのたくさんの笑顔で、お腹いっぱい〜の夏休みになりました！！



# プール遊び



# ゴロゴロクラブ



今年のゴロゴロクラブの夏休みは、7月の養護学校夏祭りです。みんなでゲーム等盛り上がり、とても楽しみだった養護学校プール開放では、長い時間水中に潜ってみせりして、みんなを驚かせてくれました。8月は外出予定日に限って台風に当たってしまい、恒例のミニプール遊びの回数もいつもより少なくて残念でしたが、夏休みの最後には、スタンプラリーで楽しみ、プレゼントをもらいました。

あいいいクラブ

HALLOWEEN



イエ〜イ♪帽子似合うでしょ〜♪

魔女の爪〜

この焼きそばうまい!!  
けど長〜い!!



俺の衣装が一番だあ〜!

あいいいクラブの「ハロウィンパーティー☆」衣装をしたスタッフが学校に迎えに行きます。(ドキッ!) 大喜びする子に怖がって逃げ出す子。おやつタイムにはみんなが大好きな焼きそばやワッフル! 今年もからんころんのお兄さん&お姉さんがおいしいお菓子を差し入れてくれてみんな大喜びでした!!



みんなで、かぼちゃやコウモリなどの貼り絵をしてリースを作ったり、拾ってきた落ち葉に顔を描いて、世界に一つだけのコースターを作ったりしました! みんなの個性が出た、一つ一つ違う素敵なリースとコースターでゆうゆうクラブを一気にハロウィンムードにしました! 当日は手作りの紙芝居を利用者さんが読んでくれました☆おやつにはスイートポテトとかぼちゃプリンでハロウィンを満喫しました!!





# トムトムギャラリー



からんころん 永島 凌太さん



ぜひ、事業所に直接見に来て下さい♪



あいあいクラブ 中島 梨功人さん





# 職員インタビュー

前回：ゆうゆうクラブ\*東 真巳



今回：えぼっくハウス\*石井 利江

## ワケ 《私がここにいる理由》



えぼっくハウスに来て早三年、いくつかの事業所で勤務し、いろいろな方との出会いがあり、現在は南原を拠点として働いています。

私は福祉の仕事が初めてで、その前はスイミングスクールのコーチとして働いていました。その時に障がいのある方たちと初めて接しました。そこで、Aちゃんという3歳の女の子に出会いました。Aちゃんはとてもプールが好きで、泳ぐというより一人でプカプカ浮いたりして遊ぶことが好きな子でした。私はまず、教える以前にAちゃんと仲良くなることから始めました。シャワーで遊んだあと、いきなりプールに飛び込み、溺れながらも水とうまくたわむれて遊ぶ。ビート板なんか持ちません！コーチの話も聞かず、浮具も付けず、ひたすら水に潜ったりして好きなことをして遊んでいました。私と一緒に、水と触れ合いながらプールで楽しく過ごしていました。

Aちゃんとも日々楽しくレッスンをしていたある日、Aちゃんがプールでウンチをしまい、私がトイレへ連れて行くとそこにはお母さんがいて、とても複雑な顔をしてタオルを持って立っていました。この日以来、Aちゃんはプールには来なくなってしまいました。お母さんはプールに迷惑をかけてしまったと、プールを辞めさせてしまったようです。そのお母さんの気持ちもですが、私としては、一番はAちゃん本人の気持ちが大切だと思いました。

Aちゃんは車でプールの前を通ると泣いて、「プールに行きたいよ！」と訴えてくるようです。プールに行きたいけど行けない……。障がいを持った方たちには、やりたくてもできないことがたくさんあるという現実を目の当たりにし、そんな環境や社会がとても嫌でしたが、でも自分では何も出来ずにいました。

トトムだったらいろいろな経験や体験をさせてあげることができると思いトトムに入職しました。えぼっくハウスでもまず、利用者さんと仲良くなることから始めてみました。利用者さんと鉢作りの仕事をしたり、気分転換に公園に行って身体を動かしたり、イベントで江ノ島水族館へ行って魚やイルカのショーを観たり、七夕祭りに行って自分のお金でほしい物を買ったり、バーベキュー大会やちょっとした外食へ行ったり、四季に合わせてお花見をしたりと、毎日がとても楽しいです。このような活動やイベントを通して、環境や社会をもっと良くしていきたいと思うと同時に、少しでも才能や出来ることを開花させてあげられたら良いと考えています。

今も、ボランティアでプールが好きだけどなかなか入れない、入れるプールや環境が無いなどの障がいのある方の為に地元でレッスンをしています。初め、プールの中にも入れなかった方がビート板でバタ足や、顔つけ、クロール、プールでのルールなど、出来ることがたくさん増えていき日々、少しずつ目に見えて成長して、本人のやる気や自信につながっていることを実感しています。

これからも、プールでの経験を活かしながら、職員と利用者さんみんなで、笑顔でいきいきと生活できるように日々楽しく過ごしていきたいと思っています。

石井利江です☆





## トムトム相談室から



こんにちは！トムトム相談室の本間太郎です。私がトムトムに入職してから15年が経ちました。その前は、児童の入所施設で4年間ほど働いていました。その19年間の経験を踏まえて、平成27年4月から、相談支援専門員(以下「相談員」)として支援させていただいています。ここで簡単に相談員の役割を説明いたします。

障がいのある方が施設などを利用したい場合、今まではご本人とご家族が直接、市の窓口に行って手続きをしなければならず、受入先の事業所も自力で探さなければなりません。今は相談員が、ご利用者ご家族のご意向を伺った上で、役所や他事業所との仲介に入るなどして調整をする役割を担っています。相談員は、ご利用者(保護者の方も含む)との面談を通して、その方が利用したいサービスの調整をすることができます。

今回はある利用者の方とのエピソードを報告いたします。

**母：**短期入所(ショートステイ)を今後、利用したいのですが、うちの息子のNが利用できそうなところがありますか？

**相談員：**Nさんは、学生の頃には、ゆうゆうクラブの他に、A法人が運営しているB事業所を利用されていましたね。そちらは短期入所の事業もやっていますよ。市内だと他にもいくつか短期入所の事業所はあります。

**母：**そうですね、B事業所も利用していたので、そちらの短期入所を利用しようかなと思っています。Nは排便を自宅以外ではしたことがないので、泊まりの利用だとそこが心配ですし、少しでも慣れているB事業所の利用を考えています。

**相談員：**トイレのことは心配ですね。まずは一泊から利用してみて、その様子を見て今後のことは検討したらどうでしょうか。

**母：**土日に利用したいんですけど、大丈夫かしら？

**相談員：**B事業所は、土日の利用ができません。A法人には、他にも幾つか短期入所を運営していて、わりと新しいC事業所という施設もあって、土日も利用できるみたいなので一度見学に行ってみましょうか。

**母：**そうですね。土日に利用したいのでC事業所を一度見学してみて考えてみようかしら。

**相談員：**お母さんの都合のよい日程を教えてください、私からC事業所に連絡して、見学の日程を調整してみます。

後日、相談員とお母さんとC事業所へ見学に行きました。施設の様子を見せてもらい、どのように利用をされたいかなどのお話をしました。

**母：**ここだったらNも過ごせそうなので、利用を検討したいです。

**相談員：**今度はご本人も一緒に見学に来て、大丈夫そうだったら、具体的に利用を進めてみましょう。

数日後、ご本人とお母さんと相談員の3人で施設へ再度訪問して一緒に見学をしました。

ご本人は少し緊張した様子でしたが、その日に契約も行い、利用することになりました。Nさんは、現在も継続的にC事業所を利用されていて、徐々にご本人も慣れてきているようです。

このように相談員は、ご本人やご家族に寄り添いながら一緒にサービスの調整を行っています。

相談事業では、サービス等利用計画などの文書作成に苦労したり、ご利用者と事業所、役所との調整に時間がかかったり、ひと月に数十件の面接や書類作成、役所への提出期限が決まっていたりと、忙しく難しい業務でもありますが、このNさんのように、継続して安定した利用をご本人も安心して受けていらっしゃるという話を聞くと、相談員の果たす役割は、とても重要と感じている今日この頃です。



## 対人援助職のためのメンタルヘルス ～あなたらしさを大切に～

平成27年12月より、事業場におけるストレスチェックが法律で義務付けられました。働くすべての人の心の健康を守ることを目的として定められたこの制度は、従業員一人ひとりがご自身のストレスに早めに気づき、結果が仕事を継続するための工夫や相談に生かせるような仕組みになっています。この「早めの気づき」こそ、実はとても大切なのです。

私たちの体は外からの刺激に対して、中枢神経系の統合・処理過程を経て様々な生体反応を示します。これをストレス反応といいます。その現象は必ずしもすべてが健康不安につながるものではありません。良いストレスもあるのです。何かにチャレンジしている時、大勢の人の前で発表しなければならない時などは、心拍数や血圧が上がってしまうこともあります。けれどもこのような体験は、私たちの脳には快刺激として伝わり、体の変化は自然に回復し、心には達成感や充実感が広がります。ところが心配なストレスというのは、不快な刺激、例えば予期せぬ出来事や解決が難しい悩みごとなど物理的、心理的な刺激が改善されないまま長期化する状態です。対処がうまくいかない場合は自律神経や内分泌の乱れや免疫力の低下を引き起こしてしまいます。

私どもの事務所では、働く人のメンタルサポートにも取り組んでおります。特に大切にしていることは、セルフケア、ストレスケアへのサポートです。福祉の現場で働く方々は、自分のことを後回しにしてしまい、ストレスに気づくのが遅れてしまう人が少なくありません。これは対人援助職特有の傾向なのかもしれません。対人援助サービスにおける職場ストレスナーには次のようなものがあるとされています。

- ①職務量の多さと質的困難さ
- ②利用者との関係
- ③職場の人間関係
- ④職務役割の不明瞭さと成果の見えにくさ。

感情労働の側面を持つ福祉の仕事は相手を思いやることに多くの時間を費やします。支援を必要としている人の声に耳を傾け、相手の立場に立って支援を進める役割があります。その過程で難しい局面に遭遇したときにご自身のセルフケアがうまくいかなくなると、自己効力感が弱まり仕事への意欲にも影響してしまいます。

ストレスを感じたら、まずは意識して気分転換を試みてください。そしてストレスコーピング(対処)、自己効力感を維持する工夫、ソーシャルサポートの活用を通して上手に気持ちをリセットしてください。いつも車で走る道を歩いてみるのもいいでしょう。街路樹の紅葉、生き物たちの声、晩秋ならではの香り、味覚を楽しむのもいいでしょう。何か新しい発見があるかもしれません。



湘南精神保健福祉士事務所 目黒 明子

## 請求担当者会議 ～みんなで取り組む～

トムトムでは、障がい福祉サービス費等の請求業務をそれぞれ各事業所の請求担当者が行っています。請求担当者は毎月1回、請求書および明細書を作成し、翌月1日～10日の間に都道府県ごとに設置される国民健康保険団体連合会（国保連）に提出し、市町村には実績記録表を提出します。国保連と市町村による審査の結果、請求の内容が適正であると認められれば、請求月の翌月に障がい福祉サービス費等の報酬の9割が事業所へ支払われます。そして、残りの1割（世帯所得で異なっており上限の設定がある）が利用者から事業所へ支払われる仕組みになっています。

請求業務では、迅速かつ正確な事務処理が要求されます。毎月1回の請求期日に遅れてしまった場合や、請求書および明細書の内容に誤りが発見された場合は、修正したものを翌月に改めて提出し、再請求することになります。そうなった場合、事業所への入金も先送りになり、利用者への請求にも影響してしまうので、一つ一つ慎重に行う必要があります。

この業務を、それぞれ各事業所の請求担当者が、現場が始まる前や終わった後に、時間を調整しながら行っています。どこの現場も慌ただしく、事務に多くの時間はとれません。その中で、利用に基づき正しく請求業務を行うことは、本当に大変だと思います。法人によっては、本部でまとめて一括請求を行ったり、外部に委託して代理で請求業務を行ってもらおうようですが、トムトムはあえて現場の職員に請求業務を任せています。それは、利用の詳細について分かるのは、あくまで現場の職員であり、詳細をきちんと把握している職員が請求を行うことが、利用者の安心と信頼へ繋がると考えるからです。

今年度、新たな取り組みとして、月1回、各事業所の担当者が集まり、請求担当者会議を行っています。システムへの入力方法や確認方法について、より正確で効率的な方法を模索し合ったり、請求が否決となった事例に関して、どうしたら防ぐことができるか、相談支援の職員も入りながら様々な角度からの現状や問題点をみんなで話し合っています。普段、他の事業所のことを知る機会は少ないので、良いコミュニケーションの場にもなっています。

また、今後は、この会議で報酬の算定構造についても勉強していこうと思っています。各事業所の報酬は、障害者総合支援法によりサービスの種類ごとに基本単価が決められていますが、利用定員や利用者の障害程度区分によっても異なります。また、職員の配置人数や特別な資格を持っていると加算が付与される仕組みになっています。法改正がある度に、毎回惑わされますが、私達は複雑な障がい福祉サービスの制度の中身をしっかりと理解した上で、請求業務を行うことを目指しています。

本部 深山 裕美



## 皆さん、情報共有ってどうしてますか？

トムトムでは今年の4月から、法人全体で情報共有の強化について取り組んでいます。より良い支援・安全なサービスを提供していくことで、ご利用者と生涯共に歩める環境創りを目指す為に、これまで同様、朝礼や会議などの場で職員同士が顔を合わせて前日の事故報告書やヒヤリハット報告の内容を職員間で共有することはもちろん、ご利用者と日々接する中での職員の気づきを「見えるくん」という情報共有ツールに記入してもらい、ボードに貼り、誰もがその情報を受け取れるような仕組みを試みています。



6月の全体研修会では「情報共有の強化の取り組み」に関してのグループワークを行いました。その中で職員から以下のような意見が出ました。

- ・時が経過した情報も、個人支援ファイルを見れば分かるようにまとめられているので良い。
- ・ご利用者の小さな情報も知ることが出来て良い。
- ・支援を振り返り、書く習慣が身につけて良い。
- ・情報共有への意識が高まった。
- ・職場仲間と取り組むことが良い。
- ・誰でもが情報を上げやすい環境づくりにしてほしい。
- ・情報の優先順位を明確にした方が良いのでは。
- ・カテゴリ別に掲示の仕方を分けた方が良いのでは。



福祉の現場は、とても慌ただしい上に、職員の勤務時間にバラつきがあります。その中で、大切なご利用者の情報が現場の職員全員に滞りなく行き渡ること、その情報を正しく伝えることは簡単ではありません。また、その情報がうまく共有、活用されるかは、情報を受け取る側の意識によっても左右されるように思います。

今後の課題は色々ありますが、情報が見える化し、より風通しの良い職場になるよう引き続き取り組んでいきたいと考えています。



# 研修報告

## 「口腔ケアと嚥下機能について」



講師：芳賀デンタルクリニック湘南 院長 芳賀 定氏

6月11日(土)、芳賀デンタルクリニック湘南 院長 芳賀 定先生を講師にお招きし、トムトムで3度目の口腔ケアの研修を行っていただきました。

第一部では、ビデオを見ながら症例を通して口から食べられることの大切さを学びました。また、実際に食べ物を舌の上に置いて、飲み込みがうまくできないことを体験しながら、それぞれの要因についての問題点とメカニズムを学び、食事介助の基本を学ぶことができました。

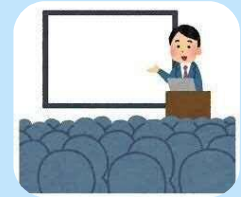
第二部では、口の中の病気や、全身疾患への影響、口腔ケアの目的と意義、実際にどんなふうに口腔ケアを行うのか、私達の支援にとっても役立つ情報を教えていただきました。

以下に研修を受けた職員の感想を紹介します。

- ・実際に体験しながら押し潰す機能や咀嚼機能のメカニズムを確認することは、何度体験しても支援の参考になる。
- ・食事や歯磨きも利用者さんの1日の生活で大事な一場面であり、また、コミュニケーションをとることが出来る場面でもあることを改めて感じた。
- ・利用者さんが食べる時にどう感じているか、どうしたらむせるのか、体験してみて改めて分かった。食べることは楽しみなことであるが、一歩間違えると苦痛を与えてしまうと改めて感じた。今回の研修で学んだことを今後の支援に役立てていきたいと思う。
- ・これまでは、食材にとろみをつけたり細かく刻めば食べられると思っていたが、自分が体験してみるとそんな単純な問題ではないと身に染みて分かった。今後は、唇、喉、口角の動きなど、さまざまな点を観察しながら、少しでも食べやすい方法を探りながら支援にあたりたいと思う。
- ・昼食後の仕上げ磨きをする時に口を大きく開けてもらうことの難しさを感じていたが、研修を受けて、歯磨きだけが要因ではなく、信頼関係なども関係している事が分かった。利用者さんが食事が進まない場合には、もしかしたら、口腔内に他の要因があるかも？と考えられるような支援を行っていきたいと思う。
- ・口腔保湿、保清に、緑茶や緑茶入り口腔スプレーが効果的であり、また、殺菌作用もあるなど、緑茶の有用性について学ぶことが出来てよかった。
- ・今回の研修で特に印象に残ったのが「いずれ親子分離する」という先生の言葉。食事介助も口腔ケアも最初は親が子どもに行うが成長過程で必ず親元を離れることとなる。特に、口腔ケアにおいては支援者がその日、その場しのぎの支援になってはいけない。ライフステージに変化があっても関わる支援者が同じ目的に向けて長期的に取り組むことが必要であると感じた。

# 研修報告

## 「ご利用者の個人情報の意識を身につけていますか？」



みなと横浜法律事務所 内嶋順一弁護士

10月13日(木)、みなと横浜法律事務所、内嶋順一弁護士を講師にお招きし、個人情報についての研修を行いました。私達は、日々の支援の中で利用者の大切な情報を取り扱います。今回の研修では、実際に福祉施設で起こりうる事例をあげて、個人情報をどう取り扱い管理したら良いのかとても分かりやすく教えていただきました。

個人情報とは、簡単に言うと個人が特定できる情報のことです。具体的には、紙に書いた文章、パソコンのデータ、写真などの画像、個人識別符号と言われる指紋識別データ、顔認識データ、マイナンバー、保険証番号、基礎年金番号等、さまざまなものがあります。

個人情報は、大きく2つに分けられます。公にされていない情報や他人に知られたくない私的な情報であるプライバシーに関わる個人情報と、本人の人種、信条、社会的身分、病歴、犯罪の経歴、犯罪により害を被った事実、その他本人に対する不当な差別、偏見その他の不利益が生じないようにその取扱いに特に配慮を要するものとして法令で定める記述等が含まれる要配慮個人情報の2つです。要配慮個人情報は、原則としてあらかじめ本人の同意を得ておかないと取得すらできませんが、人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるときは、本人の同意を得なくても要配慮個人情報を例外的に取得することができるそうです。

このように大切に扱うべき個人情報を私達は、日々の業務の中で、取得、管理、提供します。例えば、同一法人内や事業所内で利用者情報を共有する場合、利用者20名の小規模事業所内で常勤職員間で利用者の情報を共有した場合と、利用者200名の大規模法人内で全職員で利用者の情報を共有した場合では大きな違いがあります。私達は、情報を扱う度に、共有する利用者との関わり、個人情報の内容、共有の目的、共有する職員の範囲は適切であるのかを考えなければなりません。

また、事業所外の別組織や個人との情報の共有については、法律上許される第三者提供なのか、提供する必要はあるのか、第三者の属性と範囲、得られる利益と失う利益などを慎重に見極めなければならないということを学び、改めて個人情報を取扱う場面での意識を変えなければと思います。

今回の内嶋弁護士の研修で、業務の中で個人情報の共有や提供を行う際に注意すべき点を、場面毎に解りやすく説明していただき、改めてご利用者の情報の取り扱いに関して考え直すことができました。今回の研修を活かし、個人情報について正しい取り扱いができる様に気を引き締めて業務に取り組んでいきたいと思えます。

入会のおすすめ

## 賛助会員

トムトムでは随時、賛助会員を募集しています。

私たちは、1999年7月に設立して以来、ハンディキャップのある方とご家族のためにさまざまな福祉事業を展開し、年齢や障がいの種別にかかわらず利用者主体のサービスの確立をめざして茅ヶ崎市・平塚市で活動をしている特定非営利活動(NPO)法人です。

私たちの活動に賛同し、ご支援していただける方ならどなたでも賛助会員になっていただけます。賛助会員の皆様には広報誌(不定期発行)を通じて活動内容をご報告いたします。年会費は個人・団体ともに一口3千円となっております。皆様の温かいご支援をお待ちしております。どうぞよろしくお願いたします。

### \* 編集後記 \*

春になると南の国からわたってくる「ツバメ」。赤羽根の里山にあるゴロゴロクラブにもやってきました。

4月中旬に巣作りを始め1週間で完成。春から縁起が良いと思っていたら、ヒナがカラスに食べられたらかわいそうとか…だから巣を撤去しようとか、色々話が出ているうちに、ヒナが孵りました。ヒナが孵れば糞で巣の下が汚れてきましたが、お掃除して下さる方、棚を付けようとか…心配そうに見守って下さったご利用者様…大勢の方々に見守られ、6月中旬に巣立っていきました。ツバメの親は働き者で、ヒナ一匹に対して1時間あたり約40回、一日平均500回餌を与えるそうです。5匹のヒナが巣立ちましたので、1日2,500回も気の遠くなるような回数を毎日続けていたわけです。

2か月くらいでしたが、毎日巣を見上げながら、ドキドキと感動でした。一度巣を作ると、翌年も来てくれるそうです。ツバメが来年もぜひ、「幸せ」と一緒にゴロゴロクラブに戻って来てくれます様に、今から楽しみにしています。



ゴロゴロクラブ 玉田 守

### 特定非営利活動法人

### パーソナルサービスセンタートムトム

住所 ☆ 〒254-0019 神奈川県平塚市西真土1-7-56

電話 ☆ 0463-37-2012

FAX ☆ 0463-79-8528

Email ☆ houjin@npo-tomtom.com

URL ☆ <http://www.npo-tomtom.com/>

## 寄附・賛助会員 7月~10月

飯田様、伊藤様、原様、田中様、加藤様

藤田 正雄様、藤田 幸様、

(株)リンクスコンストラクションズ鳥羽様・平山様

高橋様、小川様、小泉様、大望産業(有)望月様

白川様、横溝様、濱野様、佐藤様、鈴木様

古郡様、小林様、白濱様、岩城様、今井様

齋藤様、河野様、安村様、(株)浅沼建設様

清水様、藤田 節子様、早川様

ありがとうございました。



## 冬期休業のお知らせ



# 12月29日(木) ~ 1月4日(水)

誠に勝手ながら上記の期間を冬期休業とさせていただきます。

### ↓ トムトムが現在行っている事業 ↓

事業所名	事業名	対象
えぼっくハウス	■生活介護事業	平塚市
	■就労継続支援B型事業	
	■就労移行支援事業	
えぼハウ	■日中一時支援事業	平塚市
ぶんぶん	■居宅介護事業	平塚市
	■重度訪問介護事業	
	■移動支援事業	
ゆうゆうクラブ	■放課後等デイサービス事業	平塚市
トムトム相談室	■計画・障害児相談支援事業	平塚市 茅ヶ崎市
あいあいクラブ	■放課後等デイサービス事業	茅ヶ崎市
ゴロゴロクラブ	■放課後等デイサービス事業	茅ヶ崎市
	■日中一時支援事業	
モンキーポッド	■日中一時支援事業	茅ヶ崎市
からんころん	■生活介護事業	茅ヶ崎市
ケアホームとむ郎	■共同生活援助事業	茅ヶ崎市